

長官



三等出仕
書記官



北海道務任員給與規則ヲ設置シテ務任者ニ其便益
ヲ與ルト雖モ如何ヤン遠隔ノ地ヨリスルモノハ旅費ノ不敷ヨリ
ニテ之カ志アルモ終ニ遂ジシキ其意ヲ不果モノトルベク遺憾ノ事
ニ付當使附屬汽船ヲ以テ無賃航海ノ路ヲ開候ハ遂ニ
念ヲ斷テ隨テ務任ノ數ヲ加ルハ必然并一時航船ノ收入ヲ減
ハシ徒年其益ヲ具ハシ不敷事并渡航手續別記ノ如ク布達
相成可然尙本廳トモ照議ノ末決布達奉太政官上申案
副へ仰高裁候也

十二年四月廿二日

乙亥四月九日

十二年四月廿二日

長官

一等属令退職調

三等出仕

記録課

書記官

會計課

北海道府住者渡航手續ノ義上申

北海道府住氏給與規則更ニノ義七年甲第拾九條伺濟

ヲ以テ及布達候以來進マ移住ノ者不其候得共遠隔ノ

地ヨリ轉籍セントスル者如キハ途中ノ費用相嵩カ为ノ途

心然ニ其志ヲ不果者往々有之趣右ノ給與規則ノ設

テアルニ其初簿ノ積本ニ其義情ノ旨尼不全存其缺

補ニ為ノ今回北海道送籍移住者渡航手續相定リ
別紙甲第四一併一通布達候奉此段上申候也

明治十二年四月廿日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三条實美殿

甲第四號

各府縣ヨリ北海道ニ送籍移住スル者當使附屬船ニ乗
組渡航セントスル時ハ左ノ手續ヲ以テ取扱候條此旨
布達候事

明治十二年四月

開拓長官黒田清隆

北海道送籍移住者渡航手續

第一條

開拓使附屬汽船ニ乗組北海道ニ送籍移住セントスル
者ハ其管轄郡區役所一申出其事由ヲ述シ副翰ト送
籍狀トヲ持参シ該船長ノ檢査ヲ經テ乗船スヘシ

第二條

第一條ノ手續ヲ經タル者ハ乗船并手荷物ニ限リ無賃

タル一ノ其餘ノ荷物ハ定ノ運賃高ヨリ三分ノ二ヲ減
タル額ヲ徴收ス

但發着ハ船賃及船待滞留中ノ費用ハ自辨タル一キ
事

第三條

品川灣ヨリ函館小樽(後志國小樽郡)ノ二港一函館
港ヨリ小樽根室(根室國根室郡)ノ二港一青森港ヨリ
陸奥國津輕郡)函館港

右ノ港灣ハ毎月船便フルニヨリ第一條ノ手續ヲ終夕
ルモノハ乗船便宜ノ地ニ出テ發船ノ期ヲ待ヘシ
但出船ノ遲速ニ依リ滞留ノ長短フルハ勿論ニ付
出船ノ期日ヲ豫知セント欲スルモノハ郡區役所或ハ
移住本人ヨリ開拓使函館支廳東京出張所ノ内一電

信ヲ以テ照會アラハ其期日ヲ電信ニテ報答スヘシ

第四條

第三條ニ掲タル港灣ノ外ト雖モ移住者五十人以上一
時ニ渡航セント欲セハ其請願ノ場ニ回船スヘキニヨ
リ其管轄郡區役所一申出該役所ニテハ其人負并荷物
ノ數(手荷物ノ數ハ算入セズ)發着地名等ヲ詳記セシ書
面ヲ以テ其事由ヲ函館支廳東京出張所ノ内一報告ス
ヘシ其報告ヲ得タル廳ニ於テハ其請願ニ應スヘキ由
ト回船ノ日トヲ電信ニテ報答スヘシ

